

腎移植外来 日胆初開設

製鉄記念室蘭病院 20日から診療

製鉄記念室蘭病院は腎移植外来を開設し、20日に診療を開始する。腎臓の移植

を検討している患者が気軽に医師に相談できる環境をつくる狙いで、同病院によ



「移植を身近な治療と感してもらいたい」と話す前鼻さん

前鼻医師「まず相談を」

ると、専門の外来は胆振、日高の両管内で初めて。移植後の治療や検査も担い、従来は札幌へ通院していた患者の負担を減らす。

同病院泌尿器科の主任医長で、胆振、日高管内で唯一、日本臨床腎移植学会の腎移植認定医の資格を持つ前鼻健志さん(37)が担当する。前鼻さんは4月に同病院へ赴任し、外来の開設準備を進めてきた。

腎不全などで移植を検討している人の相談を受けて

手術先の病院へ紹介する。また一般的に、移植後に一定期間飲み続けなければいけない免疫抑制剤の投薬を管理する。

前鼻さんは2005年に札幌医科大学を卒業し、腎移植の件数が多い市立札幌病院などで勤務した。室蘭では11年に市立室蘭総合病院、12年に製鉄記念室蘭病院で勤務した経験がある。

腎不全は血液透析で治療することが多いが、移植は根本的に治せる利点がある。地方に専門医が少なくて情報を得にくいいため移植が選ばれない面もあり、前鼻さんは「まず相談してほしい。患者さんの選択肢を増やしていきたい」と話している。腎移植外来は毎月第3月曜の午後に診療する。

(生田憲)